

2026.4.25 Sat. 11:00-20:00



Free
入場無料

第5回元住吉
ミュージック
フェスティバル

11月11日(火)より
出演者募集

プロ・アマ・国籍問わず
応募締切:2025年12月末日

手作り音楽祭に興味がある方で
お手伝いご希望の方は、
下部メールアドレスまでご連絡ください。
【募集期限:2026年3月10日まで】

於:川崎市国際交流センター ホール

最寄駅:東急東横線・東急目黒線「元住吉駅」西口徒歩10分
場 所:川崎市中区木月紙園町 2-2 TEL:044-435-7000

たくさんのアーティストが集い、
ジャズ、クラシック、ロック、ポップスなど
の楽曲が一日中、生演奏で聴けて楽しめる
手作り音楽祭です。

詳しくは
ウェブサイトを
ご覧ください

Music
Enjoy
Club

音楽好きな友の会
https://ontomo.jp/

主催 MMF実行委員会/音楽好きな友の会
共催 Moton Club
後援 川崎市中区/「音楽のまち・かわさき」推進協議会/「公財」川崎市国際交流協会/「公財」川崎市生涯学習財団/
「公財」かわさき市民活動センター/かわさきFM(79.1MHz)/「公財」現代人形劇センター/人形劇団ひま座
協力 モトスミ・ブレンダン通り商店街振興組合/モトスミ・オズ通り商店街振興組合/井田中/町南東会/
木月二丁目町会/木月二丁目町会/木月三丁目町会/木月四丁目町会/井田共和会第2町会/
井田共和会第3町会/井田共和会第4町会/ソウワ・ミュージック・スクール/高倉学ミュージックスクール/
ムールドラムス/坊野裕央己ヴァイオリン教室/ウチダインテリアデザイン/大塚電化サービス/
横浜・カンパニー・3リリー/IMAカンパニー/タカ電子

お問合せ:mmf.info@ontomo.jp

「第5回元住吉ミュージック
・フェスティバル-2026」開催にあたり

「MMF-2026」開催に向けて11月11日(火)から出演者応募がスタートしています。12月の末からお正月にかけて
応募を頂いた皆さんの出場をかけた選考会が始まりますのでスタッフ一同応募楽曲の試聴、また選考で毎年
お正月もそこそこ頑張っています!皆さんの素敵な音楽を元住吉から世界に発信して行きたいと思っています。
音楽は言葉の垣根を超えて。
ご応募のなかからノンジャンル、老若男女、国籍関係なくたくさんの演奏家の皆さんに出場して頂き、観客の皆様
と生演奏を楽しみたいと思いますので2026年4月25日(土)「MMF-2026」のご来場をお待ちしています。
MMF副実行委員長・江川公美

●お知らせ:11月号の裏表紙MMF出演者応募告知で開催回数に誤りがありました。
正しくは「第5回」ですので訂正してお詫び申し上げます。

2025
12
December

ミニッツ:夫婦音楽漫才
横浜出身のアコースティックDuo。正統派ギター弾きの夫。様々な吹き物、鳴り物を操る妻。
オリジナル曲に加え、様々なジャンルのカバー曲を独自アレンジで演奏する個性派夫婦DUO。
オカリナ・ハーモニカ&ギター奏者として各地のイベントや温泉・ホテルコンサート活動を行う一
方、夫婦音楽漫才師として浅草演芸場「東洋館」にレギュラー出演する「音楽」と「笑い」の二刀流。
皆様と思わずニコリ笑顔になれるようなステージを目指し、日々奮闘中!
一般社団法人ボーイズ・バラエティー協会所属/横浜みなとみらい公認ミュージシャン



音友レコード倶楽部
レコードコンサートのプログラムは
・Light music/軽音楽の集い
& Jazz Date/ジャズの集い
・持ち寄りタイム/持参レコード/CDを
楽しむ集いで開催中

2025年
12月第204回
は休みです。

連載10

ヴァイオリン王子が贈る "Buono!"なヴァイオリンのお話
ヴァイオリンの奥深い真の魅力

Bouno Naoki
ヴァイオリン奏者 坊野 称央己



13歳からヴァイオリンを始め上野学園大学音楽学部
を卒業。アーティストサポートやイベントに多数出演
する他、武蔵小杉・元住吉エリアにて出張レッスンや
オンラインレッスンも展開中。

Violinist・坊野称央己
Official Site
naokibono-violin.com

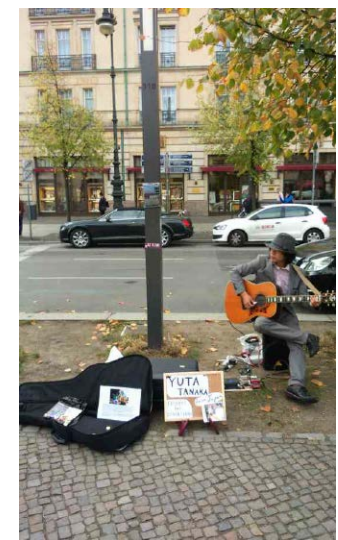
ヴァイオリンの美しい音色と繊細な表現力は、聴く人の心を強く揺さぶり、多くの作曲家や演奏家を魅了してきました。クラシック音楽はもちろん、映画音楽やポップス、さらには民族音楽にまで幅広く用いられ、まさに音楽の多様性と奥深さを象徴しているでしょう。ヴァイオリンの最大の魅力は、何と言っても「人間の声に最も近い」とされるその音色。高音から低音まで幅広い音域を持ち、弾き方や奏者の感情によってまったく異なる表情を見せま。喜びや哀しみ、怒りや祈りといった複雑な感情を音にのせて届けられることができ、楽器が語りかけてくるかのような錯覚すら覚えることもあります。一方で、習得が難しいと言われ、音程は耳と指先の感覚だけが頼りです。正確な演奏には繊細なコントロールと長年の鍛錬が必要となります。また、弓の動かし方一つで音の強弱やニュアンスが大きく変わるため、表現力も磨いていく必要があります。しかし、その苦勞の先にヴァイオリンならで

はの深い喜びが垣間見えます。努力を重ねるほど、自分だけの音色が少しずつ形を成していき、感情を伴った音楽へと昇華していきます。その過程こそが、ヴァイオリンを弾く醍醐味であり、多くの奏者を虜にする理由の一つであると私は思います。また、ヴァイオリンは単なる楽器としてだけでなく、美術品としての価値も高いです。ストラディヴァリウスやガエルネリといった名工によるヴァイオリンは、数百年経った今もなお極上の音色を保ち、多くの音楽家にとって憧れの存在となっています。木材の選定、ニス塗り方、構造の微細な違いが音に影響を与えるため、一本一本が唯一無二の存在といえます。技術と感性、歴史と芸術が交差する奥深い世界を持つ楽器。だからこそ、その魅力に触れた私は、生涯をかけて向き合おうと決意したのでした。ヴァイオリンの真の魅力を、多くの人に伝えていけるような演奏をこれからも求め続けていきます。

連載05

世界旅と音楽〜経験音を音にする
ドイツのベルリンへ

ギタリスト:Yuta Tanaka



ベルリンブランドンブルク周辺での演奏風景

みなさんこんにちは、ギタリストのYuta Tanakaです。今回はマレーシア生活について書きました。マレーシアはトータル8年以上住んでいましたが、その間ドイツのベルリンに一年ほど住んでいた事がありました。ベルリンは様々な文化が混在し、他のドイツの都市に比べオープンで物価も安いほうでした。旧西ドイツと東ドイツで感じも変わります。中東料理も豊富でケバブが安くて美味しかった。ビールもベルリンで当地ビールをいつも飲んでました。スーパーの500ミリリットル缶なら当時65円くらいでした!またスーパーで買えるパンも1番安いもので20円以下。やろうと思えば結構安く暮らせます。ただベルリン名物カリーブリスト(ソーセージにカレー粉がかかっているだけ)は別にそんなに美味しくないです笑。演奏活動の方はベルリンは比較的に

由なのでいろいろな場所をバスキング(路上演奏)していました。この頃2014年ごろからCDが売れなくなってきた感じがします。ベルリンで感じたのはそれまでカバー曲を多くやっていましたが、自分のオリジナル曲を評価してくれる人が多い印象でした。この頃からオリジナルでやっていると思った気がします。芸術レベルはヨーロッパはやはり高い感じがします。そんな中、人種差別的な事もたまにありました。日曜日はサンデーマーケットで公園で演奏していたのですが、自分だけ警察に通報されたりした事もあります。勝手な被害妄想かもしれませんが、そこでやっていたアジア人は自分だけで他の欧米人は止められてなかったからです。いろいろあり毎日必死でしたがベルリンはとても楽しかったです、またいきたい街の一つですね。

ミニ交流会
〜フラダンスで文化交流を楽しもう〜

今回は、川崎市を中心に活動し、フラダンスを楽しんでいる【LINOHANA (リノハナ)】が、フラダンスを披露します。フラダンス体験コーナーもあります。一緒に文化交流を楽しみましょう!ご来場お待ちしております。申込は不要です。



フラダンスで文化交流

フラは心の言葉
〜踊りとともにハワイ文化を〜
Yukino Hula Studio Linohana presents

- 日時:12月6日(土)14:00 ~ 16:00(13:30開場)
- 会場:川崎市国際交流センター ホール

●お問い合わせ
かわさき国際交流民間団体 ユキノ フラスタジオ リノハナ
yukino.hula.studio@gmail.com
080-4434-7901
主催:かわさき国際交流民間団体協議会
共催:公益財団法人 川崎市国際交流協会

第155回ランチタイム・ロビーコンサート

出演:古渡智江先生と「楽ら〜歌の教室」の皆さん
古渡智江先生によるコンサートと、生涯学習プラザの歌の教室受講生による合唱です。クリスマス気分をお楽しみください。



- 日時:2025年12月9日(火曜日)
12:00開場/12:10開演/12:40終演予定
- 料金:無料
- 場所:川崎市生涯学習プラザ・1Fロビー

●お問い合わせ
「公財」川崎市生涯学習財団 総務室 総務係 ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5560 E-mail: concert@kpal.or.jp
川崎市中区今井南町28-41
ホームページ https://kpal.or.jp/

12月は何と言ってもクリスマス

音友レコード倶楽部:藤田 順治



▲IN THE CHRISTMAS SPIRIT
/ブッカー・T・MG'S

Mマガジン表紙写真撮影雑誌

今回表紙モデルのミニッツご夫妻を撮影したのは台風の只中。なのに顔色のはっきりしないサラサラとしたミストが時折風に舞う。見込んでいた撮影ポイントは工事で入れず。当てが外

れて焦りつつも二人の優しくも楽しい人柄に救われ、雨に濡れることなく無事撮った。ミニッツさんが持つ、ちいさな革トラングには、楽しい音鳴さんたちがいっぱい。おにぎりかわいい。



音友レコード倶楽部PR動画!
「音友レコード倶楽部」を
わかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

常連の参加者との共同製作です。
撮影・編集はギター奏者の永瀬晋が担当。
新規参加の前に、ぜひご覧ください。
YouTube配信中。

連載16

オカリナに誘われて
楽しいか楽しくないか

コロナが最初に流行ったとき、外出は必要最低限でと言われ、音楽のような趣味なことは、みんな自粛したし、私自身もそれは仕方ないかなと思っていました。でもコロナが収まって今思うことは、音楽などの人生の潤いのようなものって、とっても大切なんだとコロナ以前より強く感じるようになりました。私も自粛生活で運動量が激減して、それに伴い体の不調も出たり、仕事が減って生活の不安も抱えたりして、全然いいことありませんでした。もし一人で生活していたら、話し相手もいなくて気持ちは滅入る一方だったかも知れません。出かけるって運動にもなっていて、誰かとお話しするのは脳トレになっていて、さらに楽器を演奏出来たらドキドキワクワクの体験になって、心も身体も大喜びと思うんです。最近介護施設に訪問演奏に出かけているのですが、最初硬い表情の人たちが、音楽を通じて表情も柔らかくな



▲オカリナカフェ/オカリナ吹こう会inクリスマスの風景

小棚木 恵美子

Kotanagi Emiko

んな演奏が出来るようになります！です、生徒達にもそんな楽しさを味わってほしいです。



「思い通りに演奏できる!オカリナ上達のポイント50」監修出版。神奈川・東京を中心に演奏活動しています。

【催事の予約受付 090-2436-5985 花】
●毎月開催の「オカリナ体験・レッスン・相談」
・日時: 第2・4週(水)、(金) ①14:00 ②15:00
・会場: コーヒースポット「ライブ」(武蔵中原駅近く)
●12月カフェイベント: 花のクラリネットとオカリナ/ミニコンサート
「オカリナ吹こう会inクリスマス」
・日時: 12/12(金)・24(水) 開演14:00
・会場: コーヒースポット「ライブ」(武蔵中原駅近く)
・内容: クリスマス曲をみんなでオカリナの演奏
・参加費2000円(コーヒーとケーキが付きます)

Instagramも是非のぞいてください
https://www.instagram.com/emikokotanagi/

Instagram
@emikokotanagi



特別寄稿 Conversations 音友レコード倶楽部・音楽談議

映画『B.S.Tに何が起こったのか』を観て その2

Fujita Junji

DJ担当: 藤田 順治

9月号でお話した続きです。B.S.Tは1969年8月17日に有名な『ウッドストックフェスティバル』にも参加し熱演した様です。しかし、主催者の不手際でギャラの支払いに問題が発生し、怒った当時のマネージャーが数曲歌った後で撮影を禁じた為、映画『ウッドストック 愛と平和と音楽の3日間』(1970)にはこの時の映像は残されていません。1970年6月17日、破竹の勢いのバンドは「鉄のカーテン・ツアー」を敢行、初公演となるユーゴスラビアのザグレブの舞台に立ちました。映画化も決定し、新人監督とクルーが同行して東欧での10公演が撮影されましたが、共産圏の民衆が熱狂する様子は国際問題につながると政治の思惑で無かったことにされています。(今回、公演を行った3か国でも政府の対応は異なり、特にルーマニアでは民衆がおとなしく聴く様、警官が見張っている様子も捉えられており、アンコールも禁止されました。)

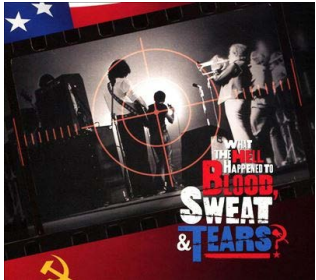
1970年9月、東欧から帰国したバンドを待っていたのは容赦ないパッシン

グの嵐です。民主主義の尖兵となった彼らは、帰国後、右派からは反戦・反体制の象徴、左派からは国務省の回し者の烙印を押され、結果的に両派からの攻撃に晒されました。その後、「ブラッド・スウェット・アンド・ティアーズ」は徐々に当時の音楽シーンから姿を消していきます。姿を消した理由はいくつかでなく当時のリーダー格の一人であったリード・ボーカルのデヴィッド・クレイトン・トーマスがその後、音楽面から他のメンバーとうまくいかなくなり、一時的に脱退した事もあるとは思いますが、政権の思惑に翻弄され、当時のトレンドに乗り遅れたBS&T。だが、「鉄のカーテン」をぶち破った血と汗と涙の結晶たるライブを活写した本作には、メンバーが「自分の記憶の中でも最高のコンサートのひとつ」だと語る圧巻のワルシャワ公演が記録されています。

半世紀を経て発見されたフィルム5本(実際は18本)を元に作品を仕上げたジョン・シャインフェルド監督は、「この映画は音楽やBS&Tファンのためだけではなく、政治スリラーであり、驚く

ほど力強い共鳴と、現在世界で起こっていることとの類似性を持っている」と語っています。

彼の脚本は高く評価され、2024年の全米脚本家組合賞を受賞しています。瞬間に時代の寵児となり、トップシーンから姿を消したバンドのオリジナルメンバー達がこの映画の中で当時を振り返ったコメントを発している事も貴重です。なお、現在オリジナルメンバーは誰もいませんが、バンドはメンバー交代を繰り返しながら活動を続けている様です。



▲What The Hell Happened To Blood, Sweat & Tears/Blood Sweat & Tears

特別寄稿 Conversations 音楽談議 / オーディオ談議

ライフワークの原点はバンコクにあり

Nakagawa Yukihisa

チェリスト: 中川 幸尚

バンコク交響楽団(後の王立バンコク交響楽団。以下BSO)に入団後は多くの室内楽のコンサートにも出演しました。一流の音楽家達と様々な曲を弾いたことは自分自身の成長につながり「仲間」との時間は常に幸せを感じさせてくれるものでした。皆一流のプレイヤーなので時に厳しく、プレッシャーもそれなりにありました。が本当にいい経験をさせてもらったと思っています。特に印象深いのがチャイコフスキーの弦楽六重奏曲「フィレンツェの思い出」をBSOの2人のコンサートマスター、セカンド・ヴァイオリンの首席奏者そしてチェロの首席奏者と弾いたことでも刺激的でした。実はこの曲、当時入院中であつたガラヤニ王女(タイの前国王ラマ9世の末妹)の病室で御前演奏するはずでした。しかし御前演奏当日の朝、王女の容態が悪化し中止に。そしてしばらくして王女は崩御なされました。クラシックをこよなく愛し、タイの芸術家の社会的地位を飛躍的に押し上げるのに多大な貢献をされた王女の病室での演奏が叶わなかったことは今でも悔やまれてなりません。その後私

はBSOの仲間たちとノヴァ・サイアム弦楽四重奏団、そしてコンサートマスターとアーティスト・アンサンブル・バンコクを立ち上げ、また室内楽コンサートシリーズ「Chamber Music at Siam Ratchada」をスタートさせ、多くのタイ人や欧米人、日本人の音楽家と共演しました。このシリーズを運営した自信が今の熊本での室内楽シリーズ「チェリストゆっきーの室内楽マニア」や大阪で

の弦楽四重奏コンサート「谷町 Classic」につながってます。熊本のシリーズも今年で6年目、大阪は実に11年目です。他にもいくつかの室内楽シリーズを各地で手掛けています。それもこれもバンコクでの経験が大きいと言えます。バンコクでの20年は私に多くのものをもたらしました。室内楽をライフワークとした出発点もバンコクだったのです。



▲「フィレンツェの思い出」のコンサート

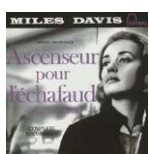
連載33

脱線ニューヨーク滞日記
思い出し寄り道編の寄り道 ニューオリンズ

Demura Katsuaki

出村 克明

前号ではオカルト系の店や、多くの人に歌われている「朝日のあたる家」にまつわる話でしたがその影が織りなされているこのフレンチクウォーター界限、享楽の賑わい、淫靡さ怪しさそれに加えて狂気等が埋もれ、パリのムーラン・ラージュが象徴的なモンマルトル、江戸時代の吉原文化もそうである様に世界中の歓楽街のそれが文化、芸術の種と同時しサブカルチャーに、それに惹かれて「飛んで火にいる夏の虫」の如く身を焦がす放蕩者や芸術家達。明るく健康的なのは悪いとは思えないくらい良いのですが暗く不健康なものも良いとは思えないものに不思議と惹かれ、憂いや退廃、悲しみの趣(おもむき)はある種の美や胸を打ち、全ての芸術のテーマにも。19世紀末から20世紀にかけてパリを中心ヨーロッパに広がったデカダンス(退廃や虚無感の側面を捉えようとする芸術的運動)やそれに並行、或いは裏腹に実存主義、その中に美に焦点を当てた耽美主義などが、そして二つの大戦、科学技術の発達などを経てその潮流から生まれた文化。音楽も含むものとして映画の世界ではヌーベルバーグ(新しい波)が。その一つルイ・マル監督ジャンヌ・モロー主演「死刑台のエレベーター 1958年」



▲マイルス・デイヴィス/死刑台のエレベーター アルバム写真: ジャンヌ・モロー

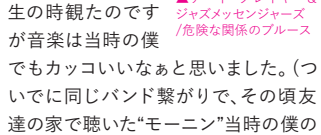
マイルス・デイヴィスが音楽を、この頃ニューヨークではカウンターカルチャーのビートニクが既に台頭し、それに刺激を与えたモダンジャズは

ビーバップ、クールジャズが全盛期、フランスをはじめヨーロッパへ多くのジャズメンが演奏に、マイルスもフランスに



▲マイルス・デイヴィス & ジュリエット・グレコ

滞っていた頃ルイ・マル監督に依頼された様です。マイルスの自叙伝によると当時交際していたシャンソン歌手ジュリエット・グレコの紹介でも、そんな関係でマイルスはサルトルやボーヴォワール、パブロ・ピカソと会った事も書いてあった気がします。録音はパリで映像を親(流し)ながらの即興とあります。後年映画を観ましたが既に音楽を聴いていた為か、主観ですが映画自体はマイルスのトランペットの印象はありませんでした。女優ジャンヌ・モロー繋がりでロジェ・パディム監督、ジャンヌ・モロー、ジェラルド・フィリップ共演「危険な関係 1959年」音楽はテーマの「危険な関係のブルース」、最後のシーンのナイトクラブでのバンド演奏「ブルースマーチ」はアート・ブレイキー&ジャズメッセンジャーズが。この映画僕は中学生の時観たのですが音楽は当時の僕でもカッコいいなあと思いました。(ついでに同じバンド繋がり、その頃友達の家で聴いた「モーニン」当時の僕の



▲アート・ブレイキー & ジャズメッセンジャーズ / 危険な関係のブルース

語彙には無かったクールさを感じ、誰がとかは関係なく子供ながら興味を引きました。この映画上流階級の夫婦がお互いに感知

して不倫をするストーリー、少年には刺激的でしたが、裸で横たわる女性の黒子(ほくら)を追って映し出されていくシーンだけでは印象的で今でも



▲セルニアス・モンクとパノニカ(ニカ)

連載07 サックスと私
サックスを吹くと言う事

Yonezawa Mitsugu

サックス奏者: 米澤 貢

僕は高校に入る迄、サックスと言う楽器を全く知りませんでした。そんな一人の学生が吹奏楽部に入りサックスと出会う。勿論楽譜も読めない、歌は歌えない音痴、リズム感も無い。そんな三重苦の状態から、毎日4、5時間の練習を始めたのです。そんな状況をどうやって乗り越えたのかは未だに謎なんです。ただ、与えられた楽譜を必死に練習する。演奏する曲を聴きまくる。そうやって少しずつですが、自分の中にクラシックという音楽が芽生えていくのです。だってそれまではフォークソングや歌謡曲、ポップスしか聴いた事なかったのですから。

身体の中にはクラシック命の血がた

ぎっていました。その頃はJAZZという音楽はうるさいだけでつまらないと思っていました。それが大学に入り180度転換してしまうのですから不思議なものです。僕は常に嫌いなものに向かって行くという習性があるようです。前号でも書きましたが、演歌は嫌いでした。でも今は演奏を演奏すると



▲銀座でのストリート風景

身体の隅々から血湧き肉踊る感じが曲に出てくるのです。やはり、培ったものは現れてくるんだとしみじみ思う今日この頃です。

さて、そんな私、習いたい人大募集しております。興味のある方は是非ご連絡よろしくお願いします。

お問い合わせ先:
携帯電話 090-6513-3010
E-mail:
yone552000@yahoo.co.jp
YouTubeチャンネル:
@streetsax.a-saxyone
「歌うストリートサックス」

連載91 Course: Addicted to Guitar
ブルースセッション ペンタトニックのチョーキング音選び

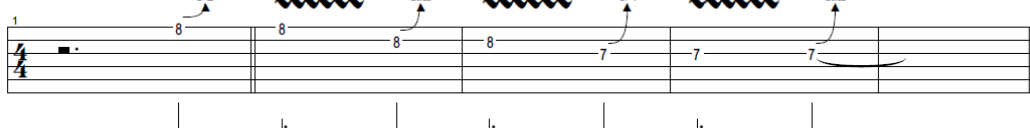
Nagase Susumu

ブルースロックピン芸人: 永瀬 晋

いつもお世話になっております。引き続きギターを始めたばかりの方への攻略コラムを紹介していきたいと思えます。今回はブルースセッション対策でマイナーペンタを掘り下げていきましょう。ブルースにおけるマイナーペンタといえますと、やはりチョーキング(ペンディング)をいかにカッコよく使いこなせるかが重要となってきます。というわけで早速チョーキングで使えるポジションを

チェックしていきましょう。一番メジャーなAmペンタのボックスポジションをイメージしてみてください。レジェンドプレイヤーから最近のプレイヤーまで大体皆さん同じ場所です。チョーキングをすることが多く、譜例がそのポジションになります(Amペンタボックスポジションにおける、1弦8F、2弦8F、3弦7F)。上げる音程に関しては、ブルースにおいては一般的に1弦が全音(4度へ)、半音(長3度

へ)、クォーター 1/4、2弦は全音(Rootへ)、3弦は全音(完全5度へ)、半音(減5度へ)、クォーター 1/4。※クォーターは1フレットの半分(ほんの少し)。という感じですがかなりバリエーションに富んだ表現が可能です。(文字だけですと伝わりにくいですが苦笑)チョーキングは他の楽器では作れない音程が出せるというギターならではの奏法ですので是非チャレンジしてみてください!また次回!



ソウリーヴ・ミュージック・スクール
SouleaveMusic School
http://souleave-music.com/
元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分
チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992
レッスンは8:00〜22:00開始迄、詳細は要連絡

MOTTON CLUB
♪掲載登録アーティスト募集中!!♪

全国のミュージシャン、および音楽活動に関わる人をネットワークし、そして演奏の場を創り、ライブと楽曲の発信活動の後押し、が目的です。元住吉から世界に向けて配信しています。
演奏者の方々で「モットンクラブ」から配信希望の演奏動画も募集しています。(近郊で企画、運営可能なスタッフも募集中)

